事業計画書

■当初 □最終

作成年月日	2024年 12月 23日
法人名	特定非営利活動法人てしろでともに
代表者職名前	理事長 吉岡久美子
担当者名	連絡先

受理	2024年 12月 23日
関	■ 市 建築指導課
係	消防局予防課
者へ	開発指導課
o o	■ 福山市障がい福祉サービス等の指
意	定に係る懇話会
見聴	
取	
同炫	2025年 3月 18日

意見

-	1 + 5 + +

事業種別	就労継続支援B型	事業所名	てしろでともに多機能型事業所	開設(変更)予 定日 2025年 5月 1日	

			計画の概要						7	本計	画書	に言	己載	が必	要な	項	1			
			計画の似安			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	□ 新規事業所の開設	т П	共生型サービス			0	0	О		0	0	О								
	■ 事業の追加	■ ‡	共生型サービス以外		新築予定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
∔ ⊅					賃借·自己所有	0	0	О	О	0	0	О	0	0	0	О	0	0	0	0
協議			■ 多機能型サービス		新築予定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
の					賃借・自己所有	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
種					現在地	0	0	О	О	0	0	О	0	0	0	О	0	0	0	0
類	□ 定員の変更	京	就労継続支援A型			0	0	0	О	0	0	0	0	0	0	О	0	0	0	0
7,5		"	共同生活住居の追加			0	0	О		0	0	О								
			上記以外			0	0	0	0	0	0	0								
	□ 大幅な事業内容の変更	×Ζ	1は生産活動を行う事業	·		0	0	0	Δ	0	0	0					0	0		0
	□ 事業所の移転					0	0	0		0	0	0							0	
	□ 建物の構造・設備の変更					0	0	0		0	0	0				0	0			

※必要に応じて〇△が無い部分も記入いただく場合があります。

2 事業実施に係る動機

障害を持つ人たちにとって、住み慣れた地域で、よく知った地域の人々と共に生きていくことは、大きな安心感の中で心を開き、自分の可能性を広げ、豊かな人生を開いていくものとして、大切なことです。しかし、現実には、地域社会そのものの中に、子どもの居場所、就労、地域交流、余暇活動、共同生活の場が十分でなく、そして家族が問題解決のための情報に接し、相談できる場が少ないため、障がい児者は地域から切り離された生活を余儀なくされ、家族もそのような障害児者の状況をひとり抱え込んで、地域から孤立してしまっています。

このような状況を打破するため、障がい児者の居場所の少なかった福山市の手城地域で、障害を持つ人の親たちが中心となって、任意団体「手城で障害者施設を立ち上げたい会」を立ち上げ(2021年12月)、障害児者の居場所つくり、障害を持つ人たちおよびその家族への情報提供・相談事業、地域の障害者福祉への理解を得る活動をして来ました。それは「特定非営利活動法人てしろでともに」設立へと発展し(2024年7月31日)、障害福祉サービス、地域生活支援事業の日中一時支援事業所の開設に至り(2024年10月1日)、今、障害児者の地域における大切な居場所となっています。それらの過程を通じて、福山市内の他地域の障害福祉事業所の皆様から幅広い多くの支援を頂きました。私たち自身も様々な実践を通して、非な行所や対金短地投議会等の研修系により、次の段階への進機が終いました。そこで、当

それらの過程を通じて、福山市内の他地域の障害福祉事業所の皆様から幅広い多くの支援を頂きました。私たち自身も様々な実践を通して、また行政や社会福祉協議会等の研修受講により、次の段階への準備が整いました。そこで、当初からの願いであった、地域における障がい者の就労の場つくり、障害児の成長の居場所つくりに、進むことに致しました。

就労継続支援B型、放課後等デイサービス事業の開設、多機能事業所化の開設申請を致します。何卒、よろしくお願い申し上げます。

3 法人の概要

O MICONING					-					
設立年月日	2024年7月31日		意見							
法人が実施する主	① 地域生活支援事業 日中一時支援	%								
本人が美施りる土	② 就労継続支援B型	%	,							
る事本	③ 放課後等デイサービス									
法人の理念	障がいを持つ人たちが、住み慣れた地域で、よく知った地できる地域社会の実現									
法人の基本方針	地域に障がい児者の居場所、就労、地域交流、余暇活動 の情報提供・相談の機会を作り、地域社会の障がい者福祉	/								

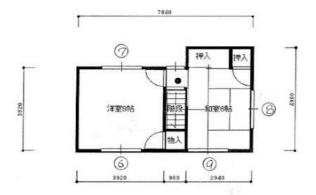
4 法人の主要取引先

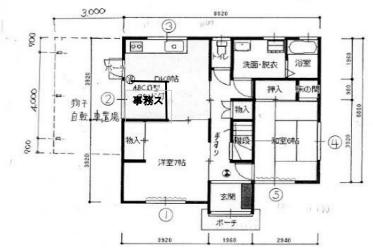
4 从八切主安取引几								
上段:取引先 下段:所在地	割合	掛取	31	回収・3	支払の条	意見		
	5	%		%	日		日回収	
	20	%		%	日〆		日回収	
	75	%		%	日〆		日回収	

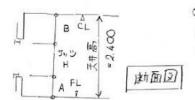
1

5 施設の概要【平面図は7のとおり】 福山市南手城町930番地の2 用途区域 工業 意見 所在地 + 地 所有者 抵当権 名称 今回の計画は、「児童福祉 施設等」に該当し、従前の 所有者 抵当権 🔲 あり 建 用途から変更がないため、 用途 構造 木造瓦葺 物 用途変更の手続きは不要。 階層 平成2 2階建て 地上 2 階 地下 建築年 0 なお、手続きが不要な場 建築面積 100.83 m² 延面積 100.83 m² 合であっても、建築士等に 種別 地域生活支援事業 日中一時支援 相談し、建築基準法に適合 専有面積 1 手続 継続 使用する階 2 階 23.1 m² する計画とすること。 人 利用者 収容人員 人|内訳 職員 事 就労継続支援B型 消防用設備等について、す 種別 業 1,2 階 専有面積 44.5 m² でに設置されている消火 の 2 手続 使用する階 器、誘導灯に加えて、非常 人 利用者 10 収容人員 職員 概 14 人 内訳 4 要 警報器具を新たに設置する 種別 放課後等デイサービス こと。また、カーテン、じゅう 3 手続 新規 使用する階 1 階 専有面積 31.3 m² たん等を使用する場合は、 15 人 内訳 職員 収容人員 人 利用者 5 10 防炎物品とすること。防火 申請種別 新築 □ 増築 □ 用途変更 □ 移転 ■ その他 対象物使用開始届出書を 提出すること。 本件施設で、日中一時支援事業を行っているところ、同施設を使用して就労継続支援B型、放課後等デイサービ 容 スの新規事業を開始する。なお、就労継続支援B型、放課後等デイサービスは時間帯をずらして営業する。 6 付近図 意見 事業所 小学校区 手城小学校 人口 10,131 同種の事業所数 利用定員合計 20 当該地域における開設事業のニーズ分析について(新規開設の場合のみ記載) 弊法人は、障がい児者が楽しめるふれあいマルシェ、交流館でのダンス教室など、地域に 凡例 根差した活動を地道に行っており、家族と密な連携の中で、障がい者が就労へ向けて活動 〇 … 事業所 する場として、弊事業所が求められるところは大きいと考えます。弊事業所は、モノづくりを中 × ··· 同種の事業所 心とした生産販売について特別支援学校他で長い経験を持つスタッフが、充実したプログラ △ … 一次避難先 ムを提供でき、それらに対するニーズもまた大きいと考えます。 □ … 二次避難先 ※付近図に、事業所から一次避難先及び二次避難先への避難経路を記載すること。 一次避難先までの距離 650 m 移動手段 徒歩または車 1,100 m 二次避難先までの距離 移動手段 付近図省略









●~誘導灯(お欠倒より)

●~丢井付非常灯

○⑤のカーテンは 防炎 処理品を 使用する

・ 就労継続支援B型 月~金(9時から14時) 祝祭日を除く 訓練・作業室 1階 6帖、7帖、6帖DK(8帖DKの内事務スペース2帖分を除く) 計31.3㎡ 2階 8帖 13.2㎡ 合計 44.5㎡ 2階 6帖間 9.9㎡ 相談室(多目的室を兼ねる)

- ・ 放課後等デイサービス 火〜金(14時から18時) 土、祝祭日(9時〜14時) 1階 6帖、7帖、6帖DK(8帖DKの内事務スペース2帖分を除く) 計31.3㎡
- 月~金(14時~18時) 土、祝祭日(14時~18時) · 日中一時支援 2階 8帖、6帖 計23.1㎡

意見

利用者に対し、作業及び支援 利用者に対し、作業及ひ支援 のスペースが狭いと思われる ため、利用者に影響がないよ た、支援の工夫や安全面には 十分配慮すること。 また、木工製品制作時の騒音 等の対策を講じること。

8 従業員

職種		雇	用形態	名前	ij	年齢	月	給	意見
管理者		常勤				68	8	万円	
サービス管理責任者/児童発達支援管理責任者		常勤				00		万円	
職業指導員		常勤	□ 非常勤			60	16	万円	
生活支援員		常勤	■非常勤			41	10	万円	
生活支援員		常勤	■非常勤			_	3	万円	
		常勤	□ 非常勤					万円	
		常勤	□□非常勤					万円	
		常勤	□□非常勤					万円	
		常勤	□□非常勤					万円	
		常勤	□□非常勤					万円	
·		常勤	□ 非常勤					万円	
		常勤	□□非常勤					万円	
						合計	37	万円	
	く件:	費 月	末 日 〆 翌	25 日 支払	ボーナス		月	月	

注 島本謙二の月給額は兼務する放課後等ディサービス(40%)、日中一時支援事業所(20%)との業務の 従事時間による按分額(40%)である。

9 借入金の状況

金融機関	理由	借入残高	ij	年間返済		意見
			万円		万円	
			万円		万円	
			万円		万円	

10 必要な資金と調達方法

10							
	必要な資金	金額		調達方法	金額		意見
≞π	土地		万円	補助金		万円	
設備	建物		万円	自己資金	125	万円	
資	設備		万円	借入金		万円	
金	車両		万円				
312	その他		万円				
運	転資金	125	万円				
	合計	125	万円	合計	125	万円	

11 事業の見通し

	事業の光通し		1月目		2月目		3月目		1年後		意見
	利用者見込 A		3	人	3	人	4	人	6	人	
	平均利用額 ※ (1人当たり)	1	11	万円	11	万円	11	万円	12	万円	
	給付費 ※2		0	万円	0	万円	33	万円	66	万円	
入	諸収入			万円		万円		万円		万円	
	収入計 ①		0	万円	0	万円	33	万円	66	万円	
	人件費		0	万円	37	万円	37	万円	37	万円	
	旅費·交通費		1	万円	1	万円	1	万円	1	万円	
支	賃借料		3	万円	3	万円	3	万円	3	万円	
出	通信費		1	万円	1	万円	1	万円	1	万円	
	諸経費 ※4		9	万円	9	万円	9	万円	9	万円	
	支払元金利息			万円		万円		万円		万円	
	支出計②		14	万円	51	万円	51	万円	51	万円	
	収支①-②		-14	万円	-51	万円	-18	万円	15	万円	
	収入 B		2	万円	5	万円	5	万円	10	万円	
生	売上高 ※	3	2	万円	5	万円	5	万円	10	万円	
産				万円		万円		万円		万円	
活	支出 C		2	万円	4	万円	5	万円	10	万円	
動	必要経費		2	万円	2	万円	2	万円	4	万円	
	利用者賃金		0	万円	2	万円	3	万円	6	万円	
	賃確保状況(A型 B-C)/25)/8)			円		円		円		円	

※1 月平均利用額(1人当たり)の積算根拠

基本報酬(サービス費)+全ての加算について記載すること

2025年5月~2026年4月 基本報酬(537単位) 1人当たり 5,370円/日×22日=118,140円 2026年5月~ 基本報酬(584単位) 1人当たり 5,840円/日×22日=128,480円

※2 給付費は、サービス提供月の翌々月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先(生産活動を行う場合に記入)

上段:受注先 下段:所在地	1月当たりの受注額	契約書の有無	回収・支払いの条件
トータルライフサポートふくやま	2 万円	□ あり ■ なし	

※3 主な事業所内生産品(生産活動を行う場合に記入)

生産品	1時間の生涯	産額					Ē	算:	式		1月当たりの5	主産額
木工製品	280	円	×	3	Η;	×	10	田	×	6 人 =	5	万円
手芸、ハンドメイド製品	340	円	×	3	Η;	X	10	日	×	2 人 =	2	万円

収支が安定する2026年1月分~で記載

※4 諸経費:消耗品, 光熱水費, 車両管理費, 研修費, 宣伝広告費, 租税公課, 社会保険料, レンタル料等

12 事業計画

(1)事業概要 事業種別:就労継続支援B型

利用定員:10名

営業日:月曜日~金曜日 ただし祝祭日及び12月29日から1月3日までを除く

営業時間 9:00~16:45 サービス提供時間:9:15~14:00 主たる対象者:知的障害者、精神障害者

送迎の有無:自力通所を基本としますが、要望があれば検討します。

協力医療機関:土屋内科医院(福山市東手城町三丁目11-26)

(2) 開設事業に係る理念・基本方針

・理念:通常の事業所に雇用されることが困難な障がい者に、住み慣れた地域での生産活動その他の活動の機会を提 供し、就労に必要な知識及び能力の向上に必要な訓練その他の支援を行う。

・基本方針:ものづくりを中心に取り組み、自分の活動が形になって、価値を生み出して行くことの体験を通して、就労に 対する意欲、知識、能力を培う。

(3)事業内容

ベンチ、万能台(スツール)等の木工製品の製作、プリザーブドフラワー他、各種手芸作品の制作を行い、法人が行うふ れあいマルシェ(市場)他で販売する。

・日常清掃業務の請負作業を行う。

13 利用者処遇

(1)具体的な支援(療育)内容及び目的

・ものづくりの作業を、知的な面で支援する補助具、支援具を用意して、易しい作業で高度な製品を作れるように支援す る。

- ・日中一時支援事業と連携して、作ったものが売れる体験を通じて、自己肯定感を高め、活動への意欲を持たせる。
- 一般就労につく際には、利用者にとってわかりやすい指示の出し方などを就労先に伝えるなど、移行時の支援も積極 的に行っていく。

(2) 支援を行うために必要となる職員の経験・有する資格など

- ・管理者兼サービス管理責任者は、特別支援学校高等部で長く作業学習(木工)の担当者として、木工製品製作のシス テムを作り(一例、別紙作業工程表参照)、生徒たちに製作に取り組ませ、製品販売会他で多数の製品を販売してきた 経験を有する。
- ・管理者兼サ--ビス管理責任者は、特別支援学校教員として障がい者の支援に長く取り組んだ経験を有し、相談支援専 門員の資格を有する。
- ·常勤職業指導員は、法人*てしろでともに*のマルシェ他で販売する障がい者の手工芸作品の制作を、法人の地域生活 支援の活動として取り組み、指導の経験を有する。
- 常勤職業指導員は、自ら障がい者の親であり、同じ障がい者の親に対する相談支援の長い経験を有する。

(3) 職員の質向上のための教育・研修計画

- ・法人てしろでともにでは、個人情報保護、虐待防止などの事項について等、職員の研修会を行っており、今後も定期的 に実施していく。
- 職員の資格取得のための事業所外の研修受講を積極的に支援し、資質向上に努める。

(4)感染症対策

- ・感染防止対策の基本「手洗い」「うがい」を徹底する。 ・市町の感染症の情報把握につとめ、早期の対処措置を取る。
- ・感染症の疑いがある症状が見られた場合は、集団感染を避ける為、別室での待機、速やかな家庭との連携、帰宅を実 施する。
- 職員の感染症対策の研修を実施する。
- (5) 事故防止等の安全確保策及び発生時の対応
- ・工具の使用において安全を徹底する。電動丸鋸盤は職員のみの使用とし、利用者の作業時間には格納する。
- 清掃請負等、施設外作業では移動時の安全確保に特に留意する。
- ・万一の事故発生時には、速やかに必要な措置を講ずると共に、福山市、利用者の家族等に遅滞なく連絡する。
- ・職員間で連携を密にし、ヒヤリハット事項についての研修を実施し、対策をたて、職員間で共有する。

(6)関係機関との連携

・相談支援事業所、市町の障害福祉課、等と連絡調整をはかり、利用者とその保護者の参加のうえ、支援計画会議を開 催し個別の支援計画へ反映させる。

(7)家族(保護者)支援

連絡帳等を用い、家族と連携を密にする。

・相談支援員有資格者たる管理者兼サービス管理者、自ら障がい者の親である常勤指導員を中心に、家族の相談支援 をしていく。

(8)その他

意見

意見

14 防災計画			
○災害時の対応体制			意見
・身の安全を確保(避難場所)⇒救護・家族と連絡をとりあい安全確認⇒情 ○避難先 一次避難先:福山市立手城小学校 距離、避難方法及び時間:650m 徒: 二次避難先:福山市立一ツ橋中学校 距離、避難方法及び時間:1,100m 名 ○防災計画等の作成 ・避難計画の作成、緊急連絡網の作 ・火災発生時(通報・消火・避難)の対 ○避難訓練の実施計画 ・年3回の防災訓練・避難訓練の実施・選難確保資器材、備蓄品の準備 ○その他	報収集 等 歩10分または車2分 走歩16分または車5分 或 応マニュアルの作成	震 、11月:火災)	
15 一日の流れ			
営業日	営業時間	サービス提供時間	7
月 火 水 木 金 土 日 祝 ■ ■ ■ ■ □ □ □	9:00~16:45	9:15~14:00	

9 時 0 分 ~ 9 時 15 分	始業準備	意見
9 時 15 分 ~ 9 時 30 分	利用者朝の会	
9 時 30 分 ~ 11 時 30 分	作業	
11 時 30 分 ~ 12 時 30 分	昼休憩 昼食	
12 時 30 分 ~ 13 時 30 分	作業	
13 時 30 分 ~ 14 時 0 分	利用者身辺整理、帰りの会	
14 時 0 分 ~ 時 分	終業整理	

※上記と異なる営業時間・サービス提供時間がある場合に記載すること。

月 火 水 木 金 土 日 祝	サービス提供時間	営業時間				ξ日	営業			
			祝	田	±	金	木	水	火	月

	思兄
時 分 ~ 時 分	
時 分~ 時 分	
時 分 ~ 時 分	
時 分 ~ 時 分	
時 分~ 時 分	
時 分~ 時 分	

事業計画書

口当初	■最終

作成年月日	2025年 3月 31日
法人名	特定非営利活動法人てしろでともに
代表者職名前	理事長 吉岡久美子
担当者名	連絡先

様式第2号-2
受付印
2025/3/31受付印省略

主な修正点

1 協議事項

事業種別	就労継続支援B型	事業所名	てしろでともに多機能型事業所	開設(変更)予 定日	2025年 5月 1日	

	シュアの柳田				本計画書に記載が必要な項目													
		計画の概要		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	□ 新規事業所の開設	□ 共生型サービス		0	0	0		0	0	0								
	■ 事業の追加	■ 共生型サービス以外	□ 新築予定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
↓ カ			□ 賃借·自己所有	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
協議		■ 多機能型サービス	□ 新築予定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
の			□ 賃借·自己所有	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
種			■ 現在地	0	0	0	0	0	0	О	0	0	0	0	0	0	0	0
類	□ 定員の変更	□ 就労継続支援A型		0	0	0	0	0	0	О	0	0	0	0	0	0	0	0
A A		□ 共同生活住居の追加		0	0	0		0	0	О								
		□ 上記以外		0	0	0	0	0	0	0								
	□ 大幅な事業内容の変更	『 ※△は生産活動を行う事業		0	0	0	Δ	0	0	0					0	0		0
	□ 事業所の移転	_		0	0	0		0	0	0							0	
	□ 建物の構造・設備の変更			0	0	0		0	0	0				0	0			

※必要に応じて○△が無い部分も記入いただく場合があります。

2 事業実施に係る動機

障害を持つ人たちにとって、住み慣れた地域で、よく知った地域の人々と共に生きていくことは、大きな安心感の中で心を開き、自分の可能性を広げ、豊かな人生を開いていくものとして、大切なことです。しかし、現実には、地域社会そのものの中に、子どもの居場所、就労、地域交流、余暇活動、共同生活の場が十分でなく、そして家族が問題解決のための 情報に接し、相談できる場が少ないため、障がい児者は地域から切り離された生活を余儀なくされ、家族もそのような障 害児者の状況をひとり抱え込んで、地域から孤立してしまっています。

害児者の状況をひとり抱え込んで、地域から孤立してしまっています。このような状況を打破するため、障がい児者の居場所の少なかった福山市の手城地域で、障害を持つ人の親たちが中心となって、任意団体「手城で障害者施設を立ち上げたい会」を立ち上げ(2021年12月)、障害児者の居場所つくり、障害を持つ人たちおよびその家族への情報提供・相談事業、地域の障害者福祉への理解を得る活動をして来ました。それは「特定非営利活動法人てしろでともに」設立へと発展し(2024年7月31日)、障害福祉サービス、地域生活支援事業の日中一時支援事業所の開設に至り(2024年10月1日)、今、障害児者の地域における大切な居場所となっています。それらの過程を通じて、福山市内の他地域の障害福祉事業所の皆様から幅広い多くの支援を頂きました。私たち自身も様々な実践を通して、また行政や社会福祉協議会等の研修受講により、次の段階への準備が整いました。そこで、当初からの願いであった。地域におけるため、であった。関連によけるで、当初からの願いであった。地域における時がいるの就当の場合くり、障害児の成長の民場所つくりに、進むことに致しまし、

初からの願いであった、地域における障がい者の就労の場つくり、障害児の成長の居場所つくりに、進むことに致しまし

就労継続支援B型、放課後等デイサービス事業の開設、多機能事業所化の開設申請を致します。何卒、よろしくお願い 申し上げます。

3 注人の概要

3 広入の似女					
設立年月日	2024年7月31日		主な修正点		
法人が実施する主	① 地域生活支援事業 日中一時支援				
は は事業	② 就労継続支援B型	割合	40	%	1
る事未	③ 放課後等デイサービス	割合	40	%	
法人の理念	障がいを持つ人たちが、住み慣れた地域で、よく知った地できる地域社会の実現				
法人の基本方針	地域に障がい児者の居場所、就労、地域交流、余暇活動 の情報提供・相談の機会を作り、地域社会の障がい者福祉				

4 法人の主要取引先

4 公人の主要取引九								
上段: 取引先 下段: 所在地	割合	掛取	3 1	回収	大····································	を払の条	件	意見
	5 %	6	%	田	ď		日回収	
	20 %	6	%	田	ď		日回収	
	75 %	6	%	日	ø		日回収	

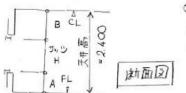
5 施設の概要【平面図は7のとおり】 土 所在地 福山市南手城町 福山市南手城町930番地の2 用途区域 主な修正点 土地 工業 抵当権 🛘 所有者 建築士等に相談し、建築 基準法に適合する計画とし 名称 ます。 抵当権 🔲 あり 所有者 建 が 消防用設備等について、 新たに非常警報器具を設 木造瓦葺 住宅 用途 構造 物 階層 2階建て 建築年 平成2 地上 2 階 地下 置し、消防署の検査を受け m² 延面積 100.83 直し、月防者の検査を受けました。ました。事務スペースの仕切りに新たに購入した布製のパーテーションは、防炎物品としています。 建築面積 100.83 m² 種別 地域生活支援事業 日中一時支援 専有面積 使用する階 23.1 m² 1 手続 2 階 収容人員 人 内訳 職員 人 利用者 事 就労継続支援B型 種別 業 防火対象物使用開始届出書を指定申請に伴い消防 1,2 階 専有面積 2 使用する階 44.5 m² の 手続 4 人 利用者 10 人 放課後等デイサービス 概 収容人員 14 人 内訳 職員 4 要 署に提出し、検査を受け完 種別

	3	手続	新規	使用する		専有面積	31.3	がり致しました。
	申請種別	収容人員 □ 新築		職員 □		利用者 10 その他	0 人	
内		•						
容	本件施設で	ミ、日中一時 ἷ業を開始す	支援事業を行ってし る。なお、就労継続	^るところ、同 ・支援B型、放	施設を使用 課後等デイ	して就労継続 サービスは時	支援B型、放課後等デイサー 間帯をずらして営業する。	
	100 101750 3	***C);;;;;;	000000000000000000000000000000000000000				11,11,12, 12, 12, 14, 16,	
6 付证	Í図							
1, 24,1	÷	+ 1, 24+	1	10 101		日廷の末巻	T** 1 ***	主な修正点
小学校	文区 于项	述小学校		10,131	人	同種の事業 利用定員合		
			美のニーズ分析につ			み記載)		
			しめるふれあいマルシ おり、家族と密な連携				凡例 〇 ··· 事業所	
する	る場として、弊	事業所が求め	かられるところは大きし 別支援学校他で長い	と考えます。	弊事業所は、	モノづくりを中	× ··· 同種の事業所	
			が又接手校他で長いる ムニーズもまた大きい。		メソノが、元夫	じにブログブ	△ … 一次避難先	
╽┕							□ … 二次避難先	
*	付近図に,事	業所から一	-次避難先及び二次	避難先への	避難経路を記	記載すること。		
_:	欠避難先まで	での距離	650 m	移動手段	徒歩また	とは車		
	分で歩み十十つ	の明朝	1,100 m	投制工机	徒歩又	(十古		
-	欠避難先まで	この世産	1,100 m	移動手段	14少人	ルルー		
l								
付:	近図省略							

7 平面図 ※¹ ※¹ ※¹







●~誘導灯(お欠倒より)

- ●~ 走井 付非常灯
- ①⑤のカーテンは 防炎 処理品を 使用する
- ・ 就労継続支援B型 月〜金(9時から14時) 祝祭日を除く 訓練・作業室 1階 6帖、7帖、6帖DK(8帖DKの内事務スペース2帖分を除く) 計31.3㎡ 2階 8帖 13.2㎡ 合計 44.5㎡ 相談室(多目的室を兼ねる) 2階 6帖間 9.9㎡
- ・ 放課後等デイサービス 火〜金(14時から18時) 土、祝祭日(9時〜14時) 1階 6帖、7帖、6帖DK(8帖DKの内事務スペース2帖分を除く) 計31.3㎡
- ・日中一時支援 月~金(14時~18時) 土、祝祭日(14時~18時) 2階 8帖、6帖 計23.1㎡

主な修正点

木工製品の作業スペースは 1階の洋室7畳及び屋外(和室 6畳まえのスペース)を中心に 予定しています、材料及び完 成品の保管場所は屋外にス チール製の物置を設置して保 管場所とし、屋内のスペースを あまりとらないようにします。 支援の工夫や安全面には十 分配慮していきます。

事業所の区域は工業地域で すが、木工製品製作時の騒音 には十分に対策を取ります。

8 従業員

職種		雇用形態			名	前	年齢	月給		主な修正点
管理者		常勤					68	8	万円	
サービス管理責任者/児童発達支援管理責任者		常勤					00		万円	
職業指導員		常勤	□ 非常				60	16	万円	
生活支援員		常勤	■非常				41	10	万円	
生活支援員		常勤	■非常				45	3	万円	
		常勤	□ 非常						万円	
		常勤	□ 非常						万円	
		常勤	口 非常						万円	
		常勤	□ 非常						万円	
		常勤	口 非常	勤					万円	
		常勤	□ 非常						万円	
		常勤	□ 非常	勤					万円	
							合計	37	万円	
	く件:	費 月	末 日 〆	翌	25 日 支払	ボーナス		月	月	

注 島本謙二の月給額は兼務する放課後等デイサービス(40%)、日中一時支援事業所(20%)との業務の 従事時間による按分額(40%)である。

9 借入金の状況

金融機関	理由	借入残高	ij	年間返済		主な修正点
			万円		万円	
			万円		万円	
			万円		万円	

10 必要な資金と調達方法

10	。 心女 な貝並Cim 注力 仏						
	必要な資金	金額		調達方法	金額		主な修正点
≞π	土地		万円	補助金		万円	
設備	建物		万円	自己資金	125	万円	
資	設備		万円	借入金		万円	
金	車両		万円				
312	その他		万円				
運	転資金	125	万円				
	合計	125	万円	合計	125	万円	

11 事業の見通し

Ė		来の先通し	1月目		2月目		3月目		1年後		主な修正点
	利	用者見込 A	3	人	3	人	4	人	6	人	
	(1	匀利用額 ※1 人当たり)	11	万円	11	万円	11	万円	12	万円	
		寸費 ※2	0	万円	0	万円	33	万円	66	万円	
入				万円		万円		万円		万円	
		仅入計 ①	0	万円	0	万円	33	万円	66	万円	
	人作	牛費	0	万円	37	万円	37	万円	37	万円	
		費•交通費	1	万円	1	万円	1	万円	1	万円	
支	賃信		3	万円	3	万円	3	万円	3	万円	
出	通信	言費	1	万円	1	万円	1	万円	1	万円	
	諸経費 ※4		9	万円	9	万円	9	万円	9	万円	
	支持	4元金利息		万円		万円		万円		万円	
		支出計②	14	万円	51	万円	51	万円	51	万円	
	4	又支①-②	-14	万円	-51	万円	-18	万円	15	万円	
	収入	∖ B	2	万円	5	万円	5	万円	10	万円	
生		売上高 ※3	2	万円	5	万円	5	万円	10	万円	
産				万円		万円		万円		万円	
活	支上	∄ C	2	万円	4	万円	5	万円	10	万円	
動		必要経費	2	万円	2	万円	2	万円	4	万円	
		利用者賃金	0	万円	2	万円	3	万円	6	万円	
	最賃確保状況(A型) (((B-C)/25)/8)/A			円		円		円		円	

※1 月平均利用額(1人当たり)の積算根拠

基本報酬(サービス費)+全ての加算について記載すること

2025年5月~2026年4月 基本報酬(537単位) 1人当たり 5,370円/日×22日=118,140円 2026年5月~ 基本報酬(584単位) 1人当たり 5,840円/日×22日=128,480円

※2 給付費は、サービス提供月の翌々月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先(生産活動を行う場合に記入)

上段:受注先 下段:所在地	1月当たりの受注額	契約書の有無	回収・支払いの条件
トータルライフサポートふくやま	2 万円	□ あり ■ なし	

※3 主な事業所内生産品(生産活動を行う場合に記入)

生産品	1時間の生産	産額				i	1月当たりの5	主産額			
木工製品	280	巴	×	3	H ×	10	日×	`	6 人 =	5	万円
手芸、ハンドメイド製品	340	円	×	3	H ×	10	日×	`	2 人 =	2	万円

収支が安定する2026年1月分~で記載

^{※4} 諸経費:消耗品, 光熱水費, 車両管理費, 研修費, 宣伝広告費, 租税公課, 社会保険料, レンタル料等

12 事業計画

(1)事業概要 事業種別:就労継続支援B型

利用定員:10名

営業日:月曜日~金曜日 ただし祝祭日及び12月29日から1月3日までを除く

営業時間 9:00~16:45 サービス提供時間:9:15~14:00 主たる対象者:知的障害者、精神障害者

送迎の有無:自力通所を基本としますが、要望があれば検討します。

協力医療機関:土屋内科医院(福山市東手城町三丁目11-26)

(2) 開設事業に係る理念・基本方針

・理念:通常の事業所に雇用されることが困難な障がい者に、住み慣れた地域での生産活動その他の活動の機会を提 供し、就労に必要な知識及び能力の向上に必要な訓練その他の支援を行う。

・基本方針:ものづくりを中心に取り組み、自分の活動が形になって、価値を生み出して行くことの体験を通して、就労に 対する意欲、知識、能力を培う。

(3)事業内容

ベンチ、万能台(スツール)等の木工製品の製作、プリザーブドフラワー他、各種手芸作品の制作を行い、法人が行うふ れあいマルシェ(市場)他で販売する。

・日常清掃業務の請負作業を行う。

13 利用者処遇

(1)具体的な支援(療育)内容及び目的

・ものづくりの作業を、知的な面で支援する補助具、支援具を用意して、易しい作業で高度な製品を作れるように支援す る。

- ・日中一時支援事業と連携して、作ったものが売れる体験を通じて、自己肯定感を高め、活動への意欲を持たせる。 ・日常清掃業務の請負作業では、対外的な業務の体験をし、社会での人との関わり方を身につける。 ・精神的に課題を抱える利用者に、カウンセリングマインドで関わり、支援する。

- 一般就労につく際には、利用者にとってわかりやすい指示の出し方などを就労先に伝えるなど、移行時の支援も積極 的に行っていく。

(2) 支援を行うために必要となる職員の経験・有する資格など

- ・管理者兼サービス管理責任者は、特別支援学校高等部で長く作業学習(木工)の担当者として、木工製品製作のシス テムを作り(一例、別紙作業工程表参照)、生徒たちに製作に取り組ませ、製品販売会他で多数の製品を販売してきた 経験を有する。
- ・管理者兼サ--ビス管理責任者は、特別支援学校教員として障がい者の支援に長く取り組んだ経験を有し、相談支援専 門員の資格を有する。
- ·常勤職業指導員は、法人*てしろでともに*のマルシェ他で販売する障がい者の手工芸作品の制作を、法人の地域生活 支援の活動として取り組み、指導の経験を有する。
- 常勤職業指導員は、自ら障がい者の親であり、同じ障がい者の親に対する相談支援の長い経験を有する。

(3) 職員の質向上のための教育・研修計画

- ・法人てしろでともにでは、個人情報保護、虐待防止などの事項について等、職員の研修会を行っており、今後も定期的 に実施していく。
- 職員の資格取得のための事業所外の研修受講を積極的に支援し、資質向上に努める。

(4)感染症対策

- ・感染防止対策の基本「手洗い」「うがい」を徹底する。 ・市町の感染症の情報把握につとめ、早期の対処措置を取る。
- ・感染症の疑いがある症状が見られた場合は、集団感染を避ける為、別室での待機、速やかな家庭との連携、帰宅を実 施する。
- 職員の感染症対策の研修を実施する。

(5) 事故防止等の安全確保策及び発生時の対応

- ・工具の使用において安全を徹底する。電動丸鋸盤は職員のみの使用とし、利用者の作業時間には格納する。
- 清掃請負等、施設外作業では移動時の安全確保に特に留意する。
- ・万一の事故発生時には、速やかに必要な措置を講ずると共に、福山市、利用者の家族等に遅滞なく連絡する。
- ・職員間で連携を密にし、ヒヤリハット事項についての研修を実施し、対策をたて、職員間で共有する。

(6)関係機関との連携

・相談支援事業所、市町の障害福祉課、等と連絡調整をはかり、利用者とその保護者の参加のうえ、支援計画会議を開 催し個別の支援計画へ反映させる。

(7)家族(保護者)支援

連絡帳等を用い、家族と連携を密にする。

・相談支援員有資格者たる管理者兼サービス管理者、自ら障がい者の親である常勤指導員を中心に、家族の相談支援 をしていく。

(8)その他

主な修正点

主な修正点

□ ○災害時の対応体制 ・身の安全を確保(避難場所) → 救護・救援活動 ・家族と連絡をとりあい安全確認 → 情報収集 等 ○避難先 一次避難先: 福山市立手城小学校 距離、避難方法及び時間: 650m 徒歩10分または車2分 二次避難先: 福山市立一ツ橋中学校 距離、避難方法及び時間: 1,100m 徒歩16分または車5分 ○防災計画等の作成 ・避難計画の作成、緊急連絡網の作成 ・火災発生時(通報・消火・避難)の対応マニュアルの作成 ○避難訓練の実施計画 ・年3回の防災訓練・避難訓練の実施(5月:火災・不審者、9月:地震、11月:火災) ・避難確保資器材、備蓄品の準備 ○その他	主な修正点
15 一日の流れ	-

営業日	営業時間	サービス提供時間		
月火水木金土日祝	9:00~16:45	9:15~14:00		
	9.00** 10.43	9.13.514.00		

9 時 0 分 ~ 9 時 15 分	始業準備	主な修正点
9 時 15 分 ~ 9 時 30 分	利用者朝の会	
9 時 30 分 ~ 11 時 30 分	作業	
	昼休憩 昼食	
12 時 30 分 ~ 13 時 30 分	作業	
13 時 30 分 ~ 14 時 0 分	利用者身辺整理、帰りの会	
14 時 0 分 ~ 時 分	終業整理	

※上記と異なる営業時間・サービス提供時間がある場合に記載すること。

	営業日							営業時間	サービス提供時間
月	火	水	木	金	±	ш	祝		

	土は修正点
時 分~ 時 分	
時 分 ~ 時 分	